

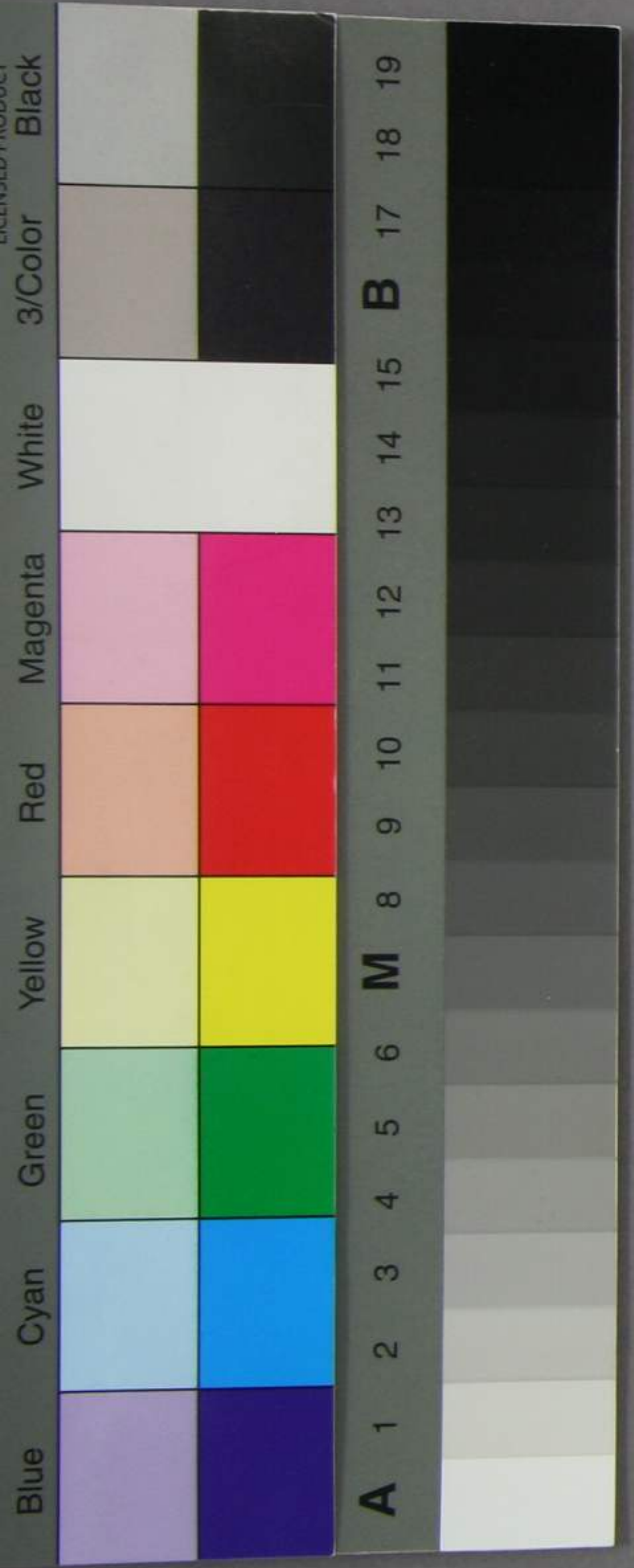
414  
A2392



鐵道開業式ノ晚ニ港町ノ日本ホテルニテ政府  
 道察御雇ノ者ハ酒肴ヲ下サレ頭取アン  
 ナンド君上席シ日本人二人之ニ介トナリ井ル、  
 トロツトル君末席ノ役ヲ務メテリ饗宴ノ模様ニ  
 悦ブベク萬事大槩歐羅巴ノホテルニ同  
 會初マレヤ舌ガル左井君エングランド君  
 ドリツチ君スミツス君米訪セリ  
 右ノ人々幸ニ米ヲレバ常例ノ式ヲ變シアン  
 ナンド君坐中ノ人ニ向メ常例ナレバ夜闌ナル  
 ニ至テナスヤ事ナレトモ左スレバ此人々來  
 訪

大正十一年四月  
大隈侯爵郵寄贈

4276



シタ人ト共ニスルヲ得ラルベキガ故今壽詞  
ヲ述ント欲ス諸君意如何ト尋子且ツガルウエ  
君ノ名モ加ヘテ歐羅巴官負未訪ノ人ヲ祝シ杯  
ヲ舉ゲント坐中ニ請ヒツレハ衆皆之ヲ諾シ壽  
詞ヲ述ヘケリ

ガルウエ君大ニ悦テ之ヲ謝セリエンゲシド  
君ハ祝詞ヲ聞キ礼ヲ返シテ且ツ申シケルハ今  
ヨリ一年ヲ過キスシテ更ニ神戶ニ於テ祝宴ヲ  
開クン時此坐中ノ諸君ニ再會致度ト  
是ニ於テ杯盤出テ卓被ヲ換エフンナンド君祝

詞ノ首唱ヲナシ謂テ曰此ノ如ク英人公會スル  
時ハ必ス先ツ忌服スル所ノ國君英王ヲ祝ス  
ルヲ常トス然レモ今我々ノ會スルハ常ト異ナ  
ル所アリ故ニ常式ニ拘ラス請フ諸君一杯ノ酒  
ヲ盡シ以テ日本天皇陛下御世萬々歳衆庶共祐  
ヲ受クト祝シツレハ衆皆歡呼ス  
次ニ皇后宮ヲ祝ス其詞短クシテ整齊尤恭敬ヲ  
表セリ  
又次ニ三藏諸省長官ヲ祝シ眼前親視スル所ヲ  
述ヘテ以テ日本ノ駁々トシテ開化ニ趨クヲ嘆

美之三職ノ度量アリ識見アリテ實ニ大臣ノ器  
ナルヲヲ贊賞セリ  
右ノ祝詞ヲ述ヘ杯ヲ傾ケアナンド君又日本  
鉄道落成ノ祝詞ヲ述フルヲ左ノ如シ  
諸君御承知ノ通景前ヨリ祝スル所ノ頌言ハ  
即チ日本皇國此度落成スル鉄道並ニ向不  
成スベキ鐵道ヲ祝スル賀夕ノ頌言ナリ  
抑、今夕我々ノ此處ニ會スルハ遠東ノ一大國  
君親臨シテ盛大ナル鐵道ノ一部落成スルヲ  
開カセラル、ヲ祝スル為ニシテ往々國內ヲ

縱横シ斯多福ナル國ノ開墾シタル地方へ達  
シ我々ノ願フ所ナリ  
英國亞國ニテ今日若シ鐵道ナカリセハ其國  
ノ為ス所ノ事如何ナルヤ萬事皆鐵道ノ便利  
ニ因テ為シテ居ルナレバトテモ之ヲ缺クテ  
ハ何事モ出來サルヘシ是ニ因テ考フレバ鐵  
道開ケテ日本ノ富強便利ノ増スヘキ事知ル  
ヘキナリ  
今マテハ運賃大ニ掛リテ物品ノ價之カ為  
ニ増加シ之ヲ作出スル人ノ利分<sub>二</sub>之カ為ニ

大ニシ然レドモ國內運送ノ方立テ廣ニ  
シテ便ナレハ外國ノ商社モ隨テ景氣好ク  
日本人モ從來ノ運送遲クシテ且不便ナル  
方ニ比スレハ神速ナル方ノ實ニ貴キヲ忽  
テ悟ルニシ此道理ニテ推シテ考フレハ鉄  
道ハ廣ク國內ニ達シ普ク人民ヲ國內ニ散  
布シ以テ新ニ商賣工業ノ藪洲ヲ興スヘキ  
者ト謂フヘシ  
今日鐵道開業式ヲ目撃シテ考フルニ日本  
政府議ヲ決シテ國立鐵道ヲ設ケントスル

イ疑ナシ断然之ヲ行ヒ功成ラハ方今英國  
ニアル所ニ同シキニ至ラン英國ノ大街道  
ハ皆大鐵道ニシテ數社アリ各社ニ頭アリ  
此等ノ鐵道社アルヲ以テ荷物運送社ト稱  
スル一大局モ立行クナリ  
英國ニ至必ス利アルヘシト思ハル、鐵道  
ヲ設ケントスル策ヲ立ツル者多カリシ然  
ルニ地面持ノ輩之ヲ拒ムト公費ノ多分ニ  
掛ルヒテ以テ事ヲ成ラサルヲ多シ然レモ  
地面ヲ持ツ紳家ノ之ヲ拒ムトハ漸ク昔

日ノ夢トナラシ今日ハ既ニサウセルラント  
侯ノ如キハ借地人用便ノ為ニ自費ヲ以テ  
鉄道ヲ設クルニ至レリ  
日本ニテハ政府ニテ地面ヲ用フルニ誰モ  
之ヲ拒ム者ナク現ニ金ヲ拂フニテモ及ハ  
サレハ總テ右様ノ故障ハ些モナシ政府ニ  
テ鐵道ヲ造リ何モ個モ皆政府ノ手ニアル  
ヲ以テ許多ノ之ニ掛ル者等ニ給金ヲ拂フ  
ニモ大ニ手輕ク濟ム荷物運送社モ別ニ設  
クルニ及ハス錢道モ畢竟公務ノ一事ニシ

テ其利益國內ニ被ル  
白耳義ハ小國ナレトモ國風ヨク事ヲ勉ム  
舟車賃銀ノ廉ナルト往來ノ便ナルニ至テ  
ハ歐羅巴中第一等トス蓋シ其國ノ政令  
日ニ至ルマテ邦ノ大道ハ全國人民ノ共ニ  
用フル者ナレハ各地ノ人氣ニ任セ或ハ下  
民ヨリ之ヲ謀ル者ノ出ソルヲ待ツベカラ  
ズトス日本今日蓋シ此意ニ倣フナリ  
方今阿示蘭ニハ黨アリ國內ノ事ハ國內ニ  
テ之ヲ理スバシト云フ説ヲ主張スル者ア

リ公會ハ之ニ及レテ大英政府ニ懇請シ阿  
爾蘭邦内ノ鑛道ヲモ大英政府へ買上フ政  
府ニテ之ヲ主宰シテ貫ハント欲ス抑鑛道  
ノ初テアル蘭ニ行ハルノ時之ヲ企ソル  
者等數多ク中ニ一盛一衰シ其後器械家代  
テ請負人トナリ工師ニインジ金ヲ拵ハ皆喜  
悅シセルガ浮沈亦一時ニシテ早晚常ニ入  
リ首謀人請負人工師議院代等皆各金ヲ得  
テ後次社此原語破滅シテ鑛道社トアル蘭  
公會ノ即今望ム所ハ唯英國政府ノ之ニ加

リテ鑛道社ノ引負ヲ免レシメソラスルニ  
アリ  
日本ニ亞墨利加ノ關係多キヲ説キ合衆國  
ニテモ此事ヲ頻リニ書立テ鄰國ナルヲ  
テ此モ彼モ何モ日本ノ為ニハ我國必ス盡  
カスマキ苦ト日本ノ三職初ノ諸省長官等  
ニ心添ス然ルニ鑛道ノ一事ニ就テハ日本  
人之ヲ諱シテ左ノ如ク言フモ隨分尤ナリ  
我友ニテ我ヲ免カセ此一事ニ就テハ話  
抑彼模範トモ云フベキ合衆國ニテノ鑛道

ヲ設クル企事ヲ多ク考察スルニ世界中交  
易場ノ諺トモナリタルエリイノ鉄道ノ如  
キハ大膽無法ノ者數人大造ナル傲言ヲ以  
テ人ヲ誑惑シ或ハ其實ヲ知ラスシテ之ニ  
興ミシ終ニ零落シタル者歐羅巴亞墨利加  
ニ數千人アリ其極ハフィスクト云フ人ヲ殺  
シストロークスト云フ人ヲ退ケ裁判所ノ判  
事ヲ退職セシムルニ至レリ日本ニテハ此  
ノ如キ事ハ固ヨリ決シテアルベカラズ事  
ヲ企テルノ權政府ニ在テ無稽大膽ナル者

ノ深慮ヲ煽惑スルヲ制スレバナリ  
扱又次國ノ方法並ニ貿交ヲ便利ニスル方  
法ノ上ニテ日本ノ鐵道ヲ設クヘキ場所ヲ  
定ムルノ事ハ深謀遠慮アル參議衆ニ托ス  
固ヨリ我輩ノ関知ル所ニ非ス我輩ノ任ト  
スル所ニ唯蒸氣車ニアルナリ抑我輩如何  
ナル規則法度書ヲ持シテ不慮ノ誤ナキ様  
ニシテ行クカ世人之ヲ知ル者少シ巧ニ乘  
馴タル鐵道ニテモ時トシテ不慮ノ誤リア  
ルナレトモ畢竟精々謹慎シテ勉勵怠ラズ

職掌ヲ嚴守スレバ過ナキニ庶幾シ  
蒸気車ハ開化ノ前驅トモ云フ異名アリ初  
メテ之ヲ見テ良友ト称シ苦心尽力セシ人  
アリ其中ノ一人即チ蒸気車ノ本司トモ云  
フニウナストルノカンニイトイエル地ヨ  
リ現ニ此ニ来リ今夕式鐵道同業列席ニ加ハ  
レルトハ實ニ悦バシキ事ナリジージーステ  
ヘンソンの博識強記ノ人ニシテ蒸気車ハ  
此人ノ賜トイハテ可ナリ其名實ニ千載ニ  
光ル尔後俊傑ノ學者追々輩出シテ遺漏ヲ

補ヒ以テ羨ヲ盡スニ至レリ即チハウザウ  
ルンスハダマルドッチウリクアムスグレ  
イ等ナリ又フラン君ハ一具ヲ發明セリ其子  
現ニ我等ト共ニ蒸気車ノ事ニ就キ奉公  
テアルナレドモ故アリテ今夕ハ不在セリ  
又歐羅巴本洲ニテハギッハルドバウルドン  
フリードモン等皆蒸気車ニ功アル者ナリ  
近年フニイルリイノパテントト称スル新式  
蒸気車アリ評判種々アレドモ未タ發明者  
ノ類フ如ク世ニ公行スルニ至ラス



無墨利加ニシヨルクノウエストホイ  
トホーランドリイノミレル君初メテ蒸気車  
ヲ作り千八百三十年チヤーレストンヘ贈  
リシ時ニコラースターレルト云フ人亦之  
ヲ呼テ良友ト称セリ節度子ト云フ機関ノ  
一具ハ即チ其人ノ工夫ナリ南カロリナノ  
鐵道ヲ乘ル者幾千人ノ中此路ハ昔日如何  
ナル地タリシカ知ル者少シ又初メテ開化  
ヲ携ラス卒蒸気車ヲ進驅シタル人近年ノ  
大戦争ノ末マデモ頻ニ盡カシ今ニ至ルマ

テ猶然ルベキガ之ヲ知ル者少シ彼太平洋  
ヨリ太平洋マテ大陸ヲ横絶シテ網ノ如ク  
鐵道ヲ設ケタルヲ見レバ亞墨利加人ハ蒸  
気車ヲ以テ東方ノ産物ヲ其都會ニ輸送ス  
ル良友ニ比スルモ宜サリ  
日出國ノ力量アル人ヲ日本人追々續テ蒸気  
車ヲ設ケ期ヲ刺シテ往來スルノ日遠カラ  
ツルマシ諸君ト余モ共ニ願クハ早ク其口  
ニ過ニシテ

右ノ談ヲ聽キ唯中皆賛称セリ

次ニ頭取ト其五人シテコベルトソシテ祝シ  
次ニ全權并上勝ヲ祝シ外國御座ノ人ニ對シ  
懇親ニシテ礼アルヲ贊稱セリ次ニ竹田ハ人  
讀ノスノ苦心焼マス萬事ニ行届キタルヲ贊  
稱シ又横濱ニテ一シシノ頭取ノ慢氣ナリ人  
ニ接スル礼アリ萬事ニ心附ヲ以テ衆皆大ニ  
之ヲ贊稱セリ  
蒸気車ノ御者ヒユルト君又ヒユルセル君ヲ祝シ  
テヒユルセル君ハヒユルト君配下ノ者ハ萬端  
心ヲ添ヘタルノ功アリ

饗宴ノ間種々ノ名歌ヲ吟スル人アリ就中川  
リイ君ハアノトシウトルト云フ歌ヲ吟シテ  
リ最後ニ上席ノアナンナント君ヲ祝シ了テ會  
者各退散セリ

